

授業科目	アジア文化交流研修 B				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	EN11304J/ E		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP3-1 DP4-1 DP5-1			
担当教員	劉 明							
授業概要	アジアではもちろん世界でもナンバーワンの観光都市京都へ研修に行き、日本ならではの観光文化・ホスピタリティの勉強や世界的有名な観光地や観光産業界(旅行会社・ホテル・旅館等)への視察をしながら、観光の歴史文化を学び、学生による京都観光地実地調査も行う。本講義では京都への研修の事前指導として、研修先の基本情報をよく理解してもらうことを目標に、授業を進める。本来であれば海外で行う研修の部分を、今回はコロナ禍の影響で 国内で行う。 遠隔授業で実施する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本ならではの観光文化を把握することができる。 2. 日本ならではのホスピタリティを把握することができる。 3. 世界一の観光都市・京都の観光資源を把握することができる。 4. 観光産業界におけるホスピタリティを把握することができる。 5. 勉学と就職の方向性を把握することができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合/ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	40	20	20	20	100	
知識・理解 (DP1-1)			10	5	5	5	25	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			5	5	5	5	20	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)			10	5	5	5	25	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)			15	5	5	5	30	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
アジア文化交流研修の授業を通して、視野を広めることができる。勉学と就職の方向性を把握することができる。				アジア文化交流研修の授業を通して、視野を広めることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション アジアの中の京都と世界との交流			講義		該当部分の復習		30

2	テーマ: 京都ならではの観光文化と ホスピタリティ①	講義と討論	該当部分の復習	60
3	テーマ: 京都ならではの観光文化と ホスピタリティ②	講義と討論	該当部分の復習	60
4	テーマ: 京都ならではの観光文化と ホスピタリティ③	講義と討論	該当部分の復習	60
5	テーマ: 京都ならではの観光文化と ホスピタリティ④	講義と討論	該当部分の復習	60
6	テーマ: 京都ならではの観光文化と ホスピタリティ⑤	講義と討論	該当部分の復習	60
7	テーマ: 世界一の観光都市・京都の観光資源①	講義と討論	該当部分の復習	60
8	テーマ: 世界一の観光都市・京都の観光資源②	講義と討論	該当部分の復習	60
9	テーマ: 世界一の観光都市・京都の観光資源③	講義と討論	該当部分の復習	60
10	テーマ: 観光産業界のホスピタリティ①	講義と討論	該当部分の復習	60
11	テーマ: 観光産業界のホスピタリティ②	講義と討論	該当部分の復習	60
12	テーマ: まとめ 総復習 & 結団式 この後、夏季、京都での研修が行われる。	講義と討論	総復習	60
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	メディアやインターネットを利用して京都に関する知識情報などを取得すること。			
テキスト	資料を配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中指導			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	①京都に関する新聞記事をよく読むこと。 ②日記(感想)を書くこと。 ③少しでも長く勉強を続けること。 ④よく質問すること。			
達成度評価に関するコメント	1. 情報収集の能力 2. コミュニケーション能力 3. 知識・意欲・関心・態度・技能・表現 4. 「その他」とは、授業へ取り組みの姿勢(どのように自主的に熱心に取り組んだか、具体的には発言、質問等の 内容 と頻度)で評価することです。			

